

報道関係各位

## 2011年度グッドデザイン賞



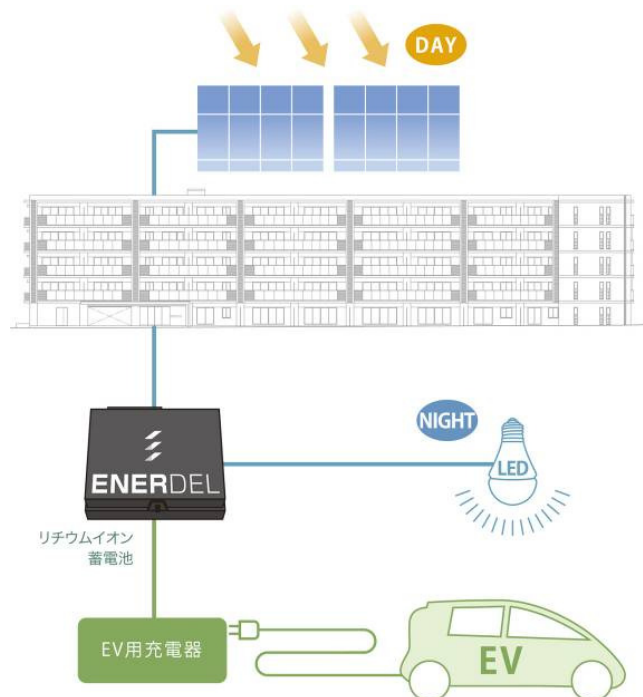
『コミュニティバッテリーシステム』で受賞  
 (クレヴィアニ子玉川で導入した太陽光パネル+蓄電池システム)  
 —5年連続受賞—

伊藤忠都市開発株式会社(東京都港区、社長/辻村 茂)は、2011年度「グッドデザイン賞」(公益財団法人日本デザイン振興会主催)を、下記のプロジェクトで受賞致しました。今般の受賞により5年連続の受賞となります。

## 【2011年度グッドデザイン賞 受賞プロジェクト・概要】

## 受賞プロジェクト名称:「コミュニティバッテリーシステム」

**概要:**太陽光パネルとリチウムイオン蓄電池を連携させ、電力使用量の多い夜間にクリーンエネルギーを活用し、蓄電池で貯めきれなかった余剰電力は売電できるシステムを創出。スクラップ&ビルドではなく永住できる集合住宅が求められている時代の中で、必要不可欠な住環境・間取り・デザインに加え、クリーンエネルギーの創出と有効活用を図るサービスをシステム化。建物のエントランスに現在の発電量・蓄電状況・使用電力量を表示できるモニターを設置し、集合住宅の入居者だけでなく来訪者にも環境への配慮の意識を啓蒙。低炭素社会の実現を住宅から発信していくとともに、日々の暮らしの中で無理なく自然と地球環境の保全に貢献するサービスを開発。



コミュニティバッテリーシステム概念図

## 【グッドデザイン賞審査委員の評価】

スマートシティ化へ向けエネルギー効率を上げるため、コアな技術を駆使し着実にクリーンエネルギーの有効活用のシステム化を実現している点が評価できる。集合住宅をエネルギーの生産地と捉えることは有効であり、エネルギーの地産地消は可能性が大きい。今後一層の普及が望まれるソリューションデザインの一つである。

※当社『グッドデザイン賞受賞』紹介ウェブページ: [sumai-design.jp/](http://sumai-design.jp/)

弊社は、今後も各プロジェクトの取り組みにおいて異業種とのコラボレーション等により、住まう方にとっての豊かな暮らしを提案し、新たな生活価値の創造を目指して参ります。

### ＜グッドデザイン賞について＞

グッドデザイン賞は、1957年に通商産業省(現経済産業省)によって創設された「グッドデザイン商品選定制度(通称Gマーク制度)」であり、以来50年以上にわたって、私たちの暮らしと産業、そして社会全体を豊かにする「よいデザイン」を顕彰し続けている制度です。その対象はデザインのあらゆる領域にわたり、受賞数は50年間で約37,000件にのぼります。受賞したデザインには「Gマーク」をつけることが認められ、創設以来約半世紀以上にわたり、「よいデザイン」の指標として、その役割を果たし続けています。

////////// **本件に関するお問い合わせ先** //////////

伊藤忠都市開発(株) 広報室 / 小泉・和田 TEL:03-6811-0254